



葉は丸みがあり、卵形で鋸葉はあらい。
20cm ~ 50cm になる多年草。



貧弱なひげ状根

食 セリ

春の七草の筆頭で水辺、湿地に生える。

昔から人気の高い山菜で、香りとさわやかな味、
歯ざわりを楽しむ。

春の七草

春の七草は、せり芹、なすな薺、みぎょう御形、はこべら繁縷、ほとけのざ仏座、
すずな松、すずしろ清白の 7 種を指し、正月 7 日に七草
粥として食べる。



根は太くて大きい
竹状の地下茎（節
がある）。



葉は細く、先が鋭くとがり、ふちには鋭い鋸葉
がある。

60cm ～ 100cm になる大型の多年草。



毒 ドクゼリ

有毒でセリに似ていることからこの名がついた。

セリと同じような水辺などに生える。

特に春先の若葉がセリと似ているため、注意が必要である。

若葉をセリと間違えたり、根をワサビと間違えて
食べて中毒した例がある。

有毒部位：

全草（芽出しのとき、特に毒
性が強い。）

有毒成分：シクトキシン

中毒症状：

血圧上昇、おう吐、けいれん、
呼吸麻痺→死亡

